



# ぱすてる

- ・密着 まろやか地域づくり
- ・DVのない社会に
- ・いろいろな目の中の男女共同参画



蓮田市男女共生情報紙  
第4号、2002.11

## お知らせ

### 講演会 のご案内

市民の皆さんに参加していただきたい「コミュニティ・男女共同参画づくり講演会」ですが、平成14年度は、来年1月26日(日)に蓮田市役所で開催します。講師は日本テレビアナウンスカレッジ学長の石川牧子氏です。

「自分らしく生きる」と題し講演していただきます。  
詳しいことが決まりましたら「広報はすだ12月号」でお知らせします。



日本テレビ  
アナウンスカレッジ  
学長 石川牧子さん



「ぱすてる」第3号「夫婦」の記事について、お便りをいただきました。

相談の仕事をしています。対応が難しいと感じるときは、夫婦の関係が冷えきっている場合が多いので、専業主婦の子育て支援への必要があると身近な問題として考えさせられました。

(加須市 宇津木さん)

### 「ぱすてる」とは？

子どもの頃から女はピンク、男はブルーと従来の固定概念にとらわれてしまっていることが多いようです。男女が性別にこだわらず自由に好きな色を選べ、柔軟な発想ができることを理想としていきたいと願い、柔らかい中間色という意の「ぱすてる」としました。

ご意見・ご感想をお寄せください。

〒349-0193  
蓮田市大字黒浜2799-1  
蓮田市役所市民が主役推進課  
女性政策担当へ

### 編集員紹介



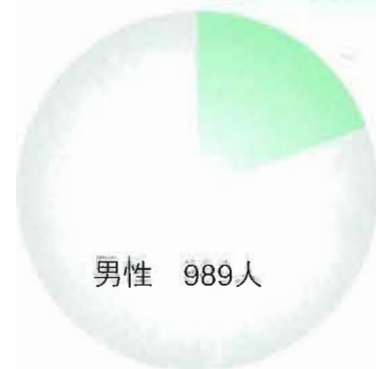
- ◆編集員として多くの方々と出会い、いろいろなお話を伺うことができて、とても有意義な経験になりました。 川崎 直美
- ◆猛暑の中、取材でお宅を訪問させていただいた折、笑顔の素敵な奥様に、私もこうでありたいと痛感させられました。 本多 祐美子
- ◆情報紙作成を通じて初体験をし、編集の難しさを知り大変勉強になりました。 高瀬 千枝子
- ◆「DV」について深く知る良い機会になりました。態度や言葉でも人を傷つけたくはないものです。 古川 美香
- ◆自分も学習しながら、言葉を捜しながらの記事づくり。頭の中に少しだけ潤滑油が注がれた気がします。 影山 節子
- ◆意識を改革することが重要であり、ひとりでも多く「ぱすてる」を見て理解を深めていただければと思っています。 黒須 功次

発行/蓮田市役所市民経済部市民が主役推進課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1 ☎048-768-3111 内線278

R100 古紙配合100%再生紙を使用しています



女性 233人



男性 989人

女性のPTA会長は19.1%  
埼玉県PTA連合会調査(平13.3.31現在)

はつらつ  
PTA  
会長

会長になったのは  
どうしてですか



黒浜西小学校  
PTA会長  
伏見多加子さん



元平野小学校  
PTA会長  
箕田由美子さん

地域の中で活動しているPTAと自治会。  
その代表として信頼と協力を得ながら活躍し  
ている会長さんがたに、お話を伺いました。

現在、黒浜西小学校のPTA会長の伏見多加子さんは、市内13校中ただ一人の女性会長です。前会長から頼まれたものの、男性会長だけの状況で躊躇しましたが、是非にということで引き受けました。平成12年度は、平野小学校でも

箕田由美子さんが、前役員からまわりのひとをサポートしていきますと頼まれたことから引き受けPTA会長になりました。その年、三人の女性会長が誕生しました。箕田さんは1年任期で終了し、目下、3年目となった伏見さんが孤軍奮闘中ですが、樋口曉子市長さんの存在が力づけられています。黒浜中学校PTA会長の伊奈正光さんは、4男が入学の時、保護者に知り合いが多く、あまり抵抗なく本部役員となり、前会長に頼まれた時も自然な気持ちで会長を引き受けました。

ただ、自分の知らない所で噂が流れたりすると、子どもにも影響がなにか不安になることもあります。男性会長は、責任と共に学校行事に出席するため仕事を休むという負担があります。そのために、運営や準備は女性役員に任せられることになりません。女性会長は、責任はもとより運営や準備にもかかわることにかなり大きな負担はありますが、それによって違う世界も開けました。お二人とも主婦業でしたが今では他方面で活動しています。学校行事での挨拶が苦手なのでという女性の声もありますが、実際に活動しているのは女性です。男性会長も、それぞれの考えが重要なので両立するのがベストと仰っています。もう一歩の前進を期待します。

変わったことが  
あります

さまざまな集会や行事、会議等に出席することは大変ですが、多くの人と接触ができ、他校の様子がわかり、なにより自分の学校がよく理解できるようになりました。地域のかたがたからもよく声がかかるようになりました。また、家族の理解や協力も得られました。



蓮田南小学校  
PTA会長  
鶴見浩之さん



黒浜中学校  
PTA会長  
伊奈正光さん

# 地域づくり

## まろやか

密着

女性 245人



男性 7,105人

女性の自治会長は3.3%  
埼玉県PTA連合会調査(平13.3.31現在)

いきいき  
自治  
会長

きっかけは  
何ですか

蓮田地区、黒浜地区、平野地区の各支部長さんと、蓮田市の100自治会の内、6名の女性会長の中から2名にお話を伺いました。蓮田支部長の中村久雄さんは、近所のかたから強い推薦があり、平成8年度の総会で就任、後に立



西新宿1・6丁目  
自治会長  
富田とし子さん



馬込第2  
自治会長  
岡山年枝さん

良かったこと、苦勞  
したことはありますか

中村久雄さんは、民生委員も兼任し、地域の住民のことは全て頭に入っています。困った時は何でも相談して欲しいといいます。竹村徹夫さんは、昨年自治会の



蓮田支部長  
馬込第4自治会長  
中村久雄さん



黒浜支部長  
グリーンタウン自治会長  
竹村徹夫さん

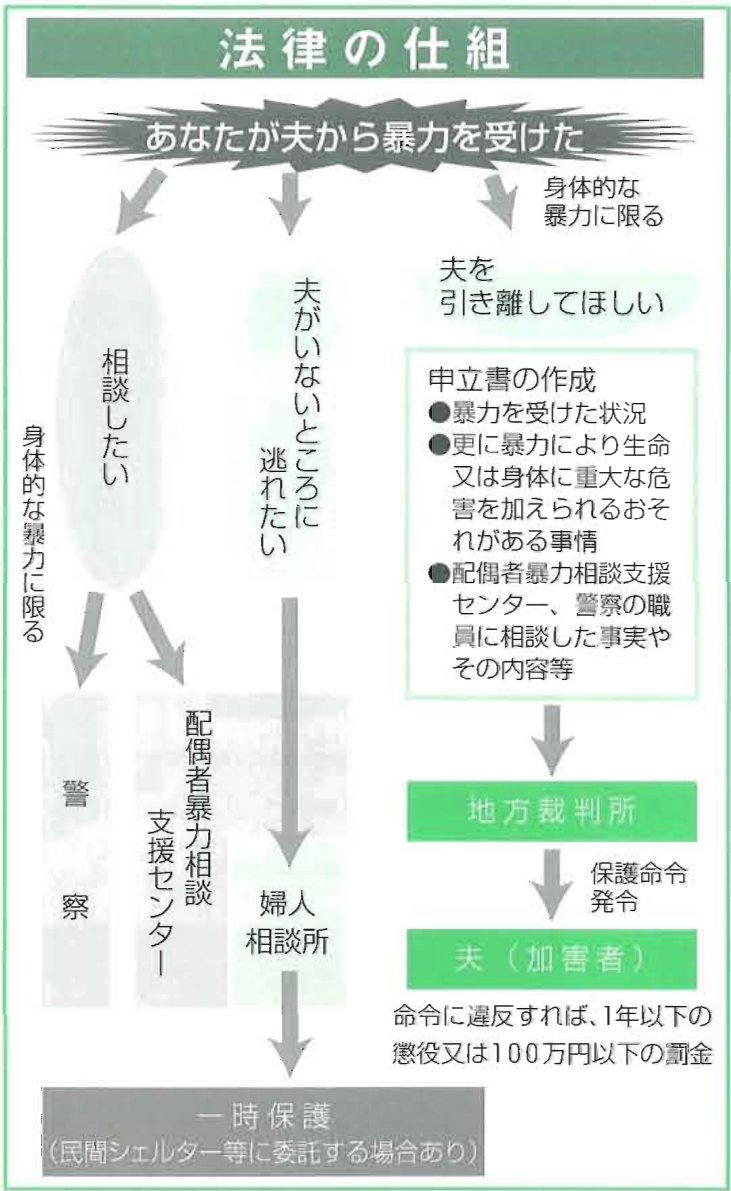
候補届出様式を作成しました。黒浜支部長の竹村徹夫さんは、副会長として10年間事務局の活動をした後、会長を引き受けて8年日になります。平野支部長の星野光正さんは、自治会の3分の1が農家のかたという地域で、1月1日に行われた投票で会長を引き受けました。馬込第2自治会長の岡山年枝さんは、相談役として長年自治会活動に携わり、平成12年会長を引き受けて3年日になります。西新宿1・6丁目自治会長の富田とし子さんは、地域のかたからの要望で立候補し、会長を引き受けて3期日5年になります。

ホームページを立ち上げました。今は、祭りの準備等でコミュニケーションがとれています。星野光正さんは、退職後支部長になり今まで関心なかった地域や行政を通じて、地元のかたとの交流が増えたといいます。岡山年枝さんは、自治会加入を勧める会合を開いた時、若い年代の方が協力的で班長や役員が決定したことが嬉しかったといいます。富田とし子さんは、役員、班長とも女性が多く、女性会長であるから、会員の方から気軽に相談してくれるので良かったといいます。現在では、アパートの方の入会が少なく、年配のかたの退会も多いようです。ゴミの不法投棄や公園、自治会館の管理等、みなさん東奔西走されています。



平野支部長  
上平野自治会長  
星野光正さん





### 一人で悩まず相談を！！

＜御安心ください。無料です＞

- 婦人相談センターDV相談室 (配偶者暴力相談支援センター) ☎ 048-600-6060
- 「With You さいたま」 (男女共同参画推進センター) ☎ 048-600-3800
- 埼玉南福祉保健総合センター ☎ 048-737-2132
- 岩槻警察署(生活安全課) ☎ 048-757-0110
- 母子福祉センター ☎ 048-642-6551
- 蓮田市役所(子育て支援課) ☎ 048-768-3111

保護命令を申し立てたい方は、婦人相談センター、埼玉南福祉保健総合センター、岩槻警察署にご相談ください。



DVに、上記のような3つの局面からなるサイクルがあるということを、多くの被害者が証言しています。暴力の爆発期に続く、ハネムーン期には、急に優しくなって愛撫したり、謝罪をするため、サイクルは、繰り返されることになり、次第に速く、暴力の度合いも激しくなっていくとされています。

### 保護命令

生命又は身体に重大な危害を受けるおそれが大きいときは、被害者である配偶者は、裁判所に「保護命令」を申請することができます。保護命令には、2種類あります。

① 接近禁止命令  
加害者が被害者の身辺につきまったり、被害者の住居、勤務先等の付近を徘徊することを6か月間禁止する。

② 退去命令  
加害者が家から2週間出ていくことを命令する。

### 配偶者暴力相談支援センター

被害者の相談、カウンセリング、一時保護を行います。また、被害者の自立支援のためや、保護命令を利用したりシェルターを利用するための情報提供を行います。なお、埼玉県では婦人相談センターが配偶者暴力相談支援センターの機能を果たします。

### ドメスティック・バイオレンス(DV)とは？

#### 男性

年齢・職業等に関係ありません。社会的にも信用があったり、世間的には温和だったりする人もいます。

#### 女性

自立への不安や報復へのおそれ、かつての愛情や責任感などの思いにしばられる。

親密な関係

夫婦 内縁 同棲 婚姻 恋人

**暴力**

身体的暴力	
身の危険を感じる	5.9%
医師の治療が必要となる	6.2%
医師の治療が必要とならない	16.4%
精神的暴力	
何を言っても無視され続ける	19.0%
交友関係・電話・郵便物を監視される	9.8%
「誰のおかげで生活できるんだ」と言われる	19.5%
大声でどなられる	40.1%
性的暴力	
嫌がっているのに性的行為を強要される	20.8%
ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられる	6.0%
避妊に協力をしない	12.7%

※埼玉県男女共同参画課「女性に対する暴力」実態調査より(平成12年度)

### 愛称 ~With You さいたま~

さいたま新都心駅から徒歩5分のところにホテルプリランテ武蔵野の中にある、With You さいたま「埼玉県男女共同参画推進センター」を見学してきました。難聴者の補聴システムが導入された視聴覚セミナー室、景観も良くエアロビクスなど体を動かすことのできる、こころと体の実習室、フロアーの壁に画鋲を使用しないで展示ができる工夫もされています。DVの相談室もあり、明るく雰囲気もすてきな施設です。いつでも、誰でも、気軽に、待ち合わせや打ち合わせに、お勤め帰りでも活用できる情報ライブラリー、交流サロンがあります。ぜひみなさまもお出かけしてみませんか。



ホテルプリランテ武蔵野の3、4階部分にあります

# DVのない社会に！！

これまでDVは、心身を傷つける人権侵害行為であり、犯罪にもなる行為であるにもかかわらず、家庭内のこととして見過ごされてきました。被害者が、安全を確保し、尊厳を保つために援助を求めるのは、あなたの権利です。平成13年10月13日に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」が施行されました。



# いろいろな目の中の

# 男女共同参画

若い世代や海外のひとたちは、どのように考えているのでしょうか。

## 子育て中30代一家



齋藤信一・良子さん・駿介くん  
(運田)

会社員の信一さんは、仕事で夜遅いため子どもと遊ぶ時間がありません。そのかわり休日には、時々家族揃って公園や児童センターへ遊びに行きスキップを大切にしています。良子さんは、専業主婦で3人の子育てに手がかり忙しい毎日です。信一さんは時間があれば掃除、おむつ交換、入浴、妻が手伝って欲しいといわなくても積極的に協力しています。子どもの寝顔を見てると疲れを忘れ幸せな気持ちになります。ご夫婦は、それはごく普通のことと思うと息の合っている様子が見られます。

最近、幼児虐待が社会問題になっています。子どもが小さい時は、育児ストレスで孤立し子どもに向かう親の無責任な行為は許しがたいと指摘されています。

## 新婚ほやほや20代

今年、2月に結婚と同時に運田に越してきました。居住するきっかけは生活環境が良かったからと言われました。パート勤めの貴子さん、「料理を作るのが好きで、家事をすることが面倒だとか、夫に手伝って欲しいと思ったこともなく、不満はありません」。

会社員の喜三郎さんは、「女性が家事、男性は外で働くという根強い環境がそうさせていると思います。子どもが生まれたら手伝おうと思っています。お互いの趣味を理解し合い、しっかりと考えた考えを持っているご夫婦です。」



原喜三郎・貴子さん  
(川島)

## さわやか高校生



山本勇氣さん (椿山)  
荒井沙和子さん (西城)

今春、1年生になった山本勇氣さんと荒井沙和子さんは、男女共同参画やジェンダーについて中学校でも高校に入学後も聞いたことが無いといえます。学校では男女混合名簿になりました。山本さんは「名簿順に席が決まるとまわり中男子になって楽しくなかったことがあったが、今は慣れてきました」。それから、「お父さんが料理を作っているのも少しもおかしくありません」。荒井さんは、「高校生になってくると女性のほうが特に、女らしくを求められ、言葉遣いも少し気にしていますが、性別にとらわれずに、個性を大切にしていきたいです」。

## きっちり“自分らしく”大学生

瀬藤正宏さんと酒井幸さんは、ジェンダーについて、高校時代に知りました。大学に入って接する機会があり、酒井さんはジェンダー論等の講義も受けられてよく理解されています。



酒井 幸さん (西新宿)  
瀬藤正宏さん (黒浜)  
小野寺美和さん (桜台)

「職業を持った女性を家庭のパートナーとした場合、協力をします。自由でありたいと思うし相手も自由であって欲しいと思います」。酒井さんは「社会進出と同じくらい家庭を守ることも大事なことだと感じています。かならずしも女性だけの問題ではなく男性も共にかたりの問題として考えて欲しいのです。子どもにとって家にいるのがお母さんではなくお父さんであって何の問題もありません。誰もいないことが問題だと思います」。小野寺美和さんは「就職を希望しています。結婚後も出産後も仕事を続けたいと思いますが、男性社会の強い職場が多い中で、家庭を守りながらの職場進出には不安を感じます」。

それぞれ「自分らしく」そのまの活発な意見で、生かせる社会をめざしているのです。

## とって前向き 海外からの女性たち



金 貞子さん  
スチオカ  
光州市在住  
韓国 家族構成 夫、子ども  
(西新宿にホームステイ)

韓国の世宗高等学校で日本語教師をしています。趣味はボウリング、サークルの顧問もしています。学校の校長や保護者の会等、トップは圧倒的に男性が多い現状です。日本の感想は、家や街並みがきれいで静かに動いている雰囲気とのこと。D（韓国）のほうが活気があります。DVは法律があり、保護してもらいこともできるが大部分の人は我慢をしながら暮らして、60歳になった時離婚する夫婦も多いと言います。会社員の夫と共働きで家事はほとんど貞子さんの仕事ですが、休日には夫も手伝ってくれます。

日本に来て6年、京都出身の男性と結婚しました。趣味は読書や自然の中のウォーキング等。夫と息子のジョセフ君（3歳）と川の字に寝るのが好きです。人口1000人ほどの小さな町で育ちました。DVについて法律はあったと思うが、自分の身近では無かったと記憶しています。子どもの頃から役割分担は無いが、自分の食事、洗濯、掃除はするものでした。



土谷ソフィヤさん(関山)  
アメリカ アラバマ州出身  
家族構成 夫、子ども、夫の母

ALT（中学校での外国語指導助手）として日本に来て2年目。趣味は体を動かすことで、週に2、3回パルシーのトレーニングルームに通っています。日本でスーツの男性が自転車に乗っている姿にビックリ！米国では、自転車はスポーツで移動手段ではありません。DVについては、相談窓口がたくさんあり、暴力を振るった男性が刑務所に入る例もあるそうです。家庭の中で子どもは役割を持っていました。ジャレットさんの担当は食器の片付け。朝食やお弁当を自分で作ったり、部屋の掃除や洗濯等を手伝っていました。



ジャレット・マクグラスさん(東)  
アメリカ バージニア州出身  
家族構成 父、母、弟、妹